

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号434

| | | | |
|-----------|--------------|---------------|---------------------------------|
| 発生場所 | 病室、廊下 | 精神・意識障害の有無 | リスク C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク |
| 発生場所（その他） | | なし | |
| 関連したもの | 点滴スタンド 段差 | 発生内容の分類 転倒 | |

発生内容

病室入口ドアレールにて躓き転倒。インシデント2での報告。

概要

廊下で倒れる音と輸液ポンプのアラームの鳴る音が響き、倒れた点滴棒を立たせようとかがんでいる患者を発見。病室入口のドアの段差で躓いてしまったと言われる。右下腿に2か所内出血・腫脹が見られた。

要因

当院の病室入口にはドアの開閉による摩擦を回避するためのレールが設置されており、数ミリ（2～3ミリ）であるが盛り上がっている状況がある。

対策

削除ができないか、施設に写真と要望書を送り、対応をお願いした。
施設対応：現在対応業者を選定している状況。2017年1月26日に発症した事例であり、時間が経過しているが対応中。

参照



シルバーのレールがすべての病室に設置されている。
わずかな段差が、転倒リスクの原因となっている。